



市民活動・ボランティア活動情報誌

2023年12月15日

No.209

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称:横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

福祉と法律を両輪に “その人らしさ”のある生活を支える



生活費の管理のほか、日々の相談などに乗っています
(区社会福祉協議会にて:10月23日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 市民後見人 p4

ボラセン情報 多様な主体とともに進めるSDGsの取組 p5

市社協情報 第8回 よこはま地域福祉フォーラム p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索

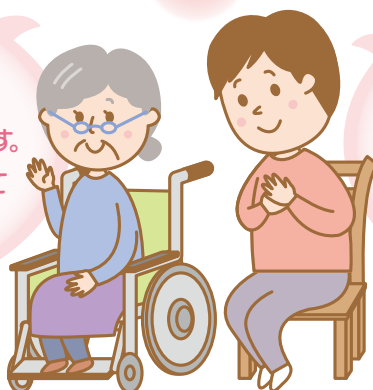


福祉と法律を両輪に “その人らしさ”のある生活を支える ～権利擁護～

あなたのすぐ近くに、認知症や障害があっても自分らしく生活していきたいと願っている人がいます。そうした方々の権利を守り、日々の生活の困りごとをうかがい、お金の管理や福祉サービス利用に関する手続きの支援などを通して、その人らしい生活を支える取組が横浜市内で広がっています。

たくさんの方が支えになります

福祉サービスの利用について相談したり、手続きを手伝ってもらっています。住み慣れたこのまちで安心して暮らし続けられています。



障害がありますが、親元から自立して暮らしています。日々のお金の管理などを見守ってくれる人がいてくれて安心です。

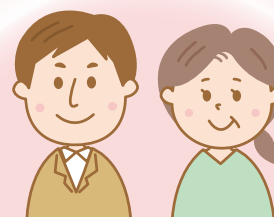
生活を支える関係者

- 家族・親族
- 民生委員・児童委員
- ボランティア
- 金融機関
- 医療機関
- 介護・福祉サービス事業者 など

相談支援機関

- 区社会福祉協議会あんしんセンター（市内18カ所）
- 区福祉保健センター
- 地域包括支援センター（お住まいの町ごとの相談窓口）
- 基幹相談支援センター（障害のある方の地域の総合相談窓口）
- よこはま成年後見推進センター など

制度についてはパンフレットもご覧ください。相談支援機関で配布しています。



成年後見人等

- 親族
- 専門職後見人
- 法人後見団体
- 市民後見人※1 など

※1…「市民後見人」
4ページをご覧ください

成年後見人等とは

成年後見人等は、ご本人の生活・医療・介護・福祉など、身のまわりの事柄にも目を配りながらご本人を保護・支援します。具体的には、ご本人の不動産や預貯金などの財産を管理したり、ご本人の希望や身体の状態、生活の様子などを考慮して、必要な福祉サービスや医療が受けられるよう、利用契約の締結や医療費の支払いなどを行ったりします。

横浜市では、専門職等の後見人だけでなく、同じ地域に暮らす立場で後見活動を行う 市民後見人の取組を進めています。

こんな時はどうすればいいの？



ひとり暮らしになって
福祉サービス利用の手続きや
お金の出し入れなど、
自分だけで行うのが不安

生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、福祉サービスの利用や日々のお金の出し入れが難しい高齢の方、障害のある方を支援しています。自己決定の尊重・自立支援の観点から、契約されているご本人の意思に基づいて金銭管理などのサービスを提供します。



● 区社会福祉協議会
あんしんセンター職員
まずは面談や訪問を重ねてその方にとって信頼される存在になることを目指しています。

● あんしんセンター利用者
夫が亡くなった後、金銭管理に不安があったのでお願いしています。こころの余裕が生まれました。久しぶりに娘と旅行に出かけてみたいです。



お気軽に
ご相談ください。

区社会福祉協議会あんしんセンター（権利擁護事業）

ホームページ▶



こんな時はどうすればいいの？

困っている人のために活動したい方



自分の住んでいる
地域で、後見人
になりたい

親族の後見人になった方



後見活動の悩みや
報告書の書き方などを
相談したい

障害があるが単身で生活している方



自分だけで
金銭管理や契約を
することが心配

後見人の養成・活動支援

市民後見人や親族の後見人の身近な相談窓口になっています。
市民後見人を養成するための養成課程開催や、修了後の活動支援を行っています。

◆ 権利擁護・成年後見制度利用促進セミナー

「どうする・どうなる 横浜の権利擁護支援」
〈日 時〉令和6年2月6日(火) 午後1時20分～5時
詳細はホームページをご覧ください(事前申込)

参加費
無料

どなたでも
参加可

相談支援機関に ご相談ください

相談窓口は、横浜市内に約200カ所あります。
ホームページでのご案内のほか、パンフレットもご用意しています。

お気軽に
ご相談ください。

よこはま成年後見推進センター
☎ 045-201-2088

自治体ごとに成年後見制度の利用促進に関する相談などの窓口(中核機関)整備が進められており、横浜市内では横浜生活あんしんセンター内に設置されています。区域の相談支援機関のバックアップをはじめ、身近な地域で成年後見人と福祉の支援者の連携が深まるよう支援しています。



後見人と相談支援機関との意見交換



▲ホームページ

横浜の権利擁護をこれからも支えていきます

横浜生活あんしんセンターが高齢者、障害者の権利擁護に取り組み、四半世紀を迎えます。100人の方には100通りの思いがあります。市民一人ひとりの思いに寄り添って、支援を続けてまいります。住み慣れたまちでその人らしい人生を送るために、これからも皆さまを支えてまいります。

えんめいまさゆき

◀ 横浜生活あんしんセンター 延命 政之 所長



横浜生活あんしんセンター
25th
今後も皆さまとともに
歩んでいきます

問い合わせ先

横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター
☎ 045-201-2009 FAX:045-201-9116
E-mail:ansin-c@yokohamashakyo.jp

横浜生活あんしんセンター 検索▶



ホームページ▶

皆さんも
市民後見人になりませんか？

グループホームで
暮らしている方の後見人
田口 良生さん



横浜市内で
市民後見人^{しんじょうほご}をしている
お二人に聞きました

施設で
暮らしている方の後見人
吉田 由美さん



ご本人の望むことのために、同じ地域に暮らす立場で
考え、気づき、行動するのが市民後見人です

横浜市における
「市民後見人」
とは

一般の市民による成年後見人等で、地域に住む身近な存在として、地域と連携してご本人を見守り、支える役割を担います。ご本人の意思や生活に寄り添って、財産管理や各種契約、見守りなど（身上保護^{しんじょうほご}）を行います。現在、横浜市の市民後見人養成課程を修了し、市民後見人バンクに登録している方は94名です（令和5年10月31日時点）。

たぐち よしお
田口 良生さん

きっかけ エンジニアとして勤め定年後に始めたコミュニティカフェで、高齢者が抱えている問題を知り、福祉に関心を持ちました。知人から市民後見人養成課程を聞き受講しました。

大切にしていること ご本人の希望に寄り添った支援を進めていくために、心の通う交流を大切にしています。犬が好きの方に写真を持って行ったり、故郷の話の聞いたり、自分なりに考えながら定期的に会う機会を大切にしています。徐々に信頼を得られるようになり、施設の職員からも普段の様子などを教えてもらえるようになっていきます。研修会では、他の後見人の方の経験を共有し知識を深め、実際の支援につなげていきます。

市民後見人のやりがい 市民後見人の強みはさまざまな経験が生かせることです。自分ができることでもその方の力になれること、市民後見人ならではの関わりを大切にしています。

よしだ ゆみ
吉田 由美さん

きっかけ 不動産業界で仕事をしています。高齢者や障害者の賃貸に関する課題が多く、契約時の後見人の必要性を感じていたのが市民後見人を目指したきっかけです。市民後見人となり自分自身の視野や見識が広がり、仕事でも役に立っています。

嬉しかったこと ご本人とのコミュニケーションは難しく感じますが、対面することを大切にしています。回を重ねる中で、ご本人から「愛読している月刊誌を定期購読したい」「弟のお墓参りに行きたい」という希望を言ってもらえたのが嬉しかったです。喜んでもらいたいと思う気持ちは大きいですが、独りよがりにならないように気を付けています。

この仕事に興味のある方へ 市民後見人はスケジュール調整が出来る方であれば仕事との両立もできます。また、若い方も得るものが多い活動です。興味があればぜひ目指してもらいたいです。

第7期 横浜市市民後見人養成課程（実施のご案内）

横浜市では市民後見人養成課程を実施しています。次回は令和6年度の開催を予定しています。あなたも養成課程を受講して市民後見人として活動してみませんか？なお、カリキュラムの一部はどなたでも参加可能です。ご受講お待ちいたしております。

詳細は令和6年3月下旬にホームページでお知らせします。＊令和6年度の横浜市の予算確定を前提とします。

【問い合わせ先】横浜生活あんしんセンター ☎045-201-2009



▲ホームページ

横浜市内の
介護人材関連情報



▲ホームページ

広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に！

例えば 近所同士で契約トラブルの情報提供
消費者被害で困っていたら横浜市消費生活
総合センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ①お試しのつもりが定期購入
- ②無料点検からの強引な屋根工事勧誘
- ③トイレ詰まりで思いがけず高額な請求

消費生活相談電話

TEL.045-845-6666

FAX.045-845-7720



横浜市消費生活総合センター

多様な主体とともに進める SDGsの取組



横浜市ボランティアセンター(以下、市ボラセン)では、企業の地域貢献活動への協力や寄付の受付、福祉教育など、さまざまな事業を実施しています。今回は、それらの事業を活かした取組として、ウェスティンホテル横浜と市立みなとみらい本町小学校と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)をテーマとしたチャリティーイベントを実施しました。



小学生たちと作るチャリティーイベント

ウェスティンホテル横浜より、同ホテルのコンセプトを体現したいとの思いから、開業1周年イベントで使用したロスフラワーの再活用に加え、地元の小学校と連携したチャリティーイベントの実施をご提案していただきました。

ウェスティンホテル横浜の コンセプト

コネクション(つながり)

SDGs

ウェルビーイング(心身の健康)

実施にあたって

子どもたちが主体性を持てるように事前授業を行い、ウェスティンホテル横浜と市ボラセン職員がイベントの趣旨や寄付について説明しました。

子どもたちは、自分たちに何ができるかを考え、募金をしてくれた方へ感謝を伝えるためのサンキューカードを手作りすることでチャリティーイベントに参加してくれることになりました。



イベント当日

児童数名がボランティアとして参加し、募金の呼びかけと募金をしてくれた方へ感謝の気持ちを書いたサンキューカードとロスフラワーを活用したお花を手渡ししました。

このイベントで集まった寄付金は、ひとり親家庭への支援のため、横浜市社会福祉協議会に寄付していただきました。



ウェスティンホテル横浜

取組に対する思い

開業1周年という節目のイベントは、地域への貢献・還元をテーマに掲げました。

ロスフラワーを装飾だけで終わらずに再活用できたことや、同じ地域にあり持続可能な取組を模索するみなとみらい本町小学校と連携できたことで、ホテルのコンセプトをより体現することができました。

実施してみた感想

子どもたち自身が責任をもって参加してくれたことが嬉しかったです。この取組が今後どのような影響を子どもたちに与えていくかを我々も含め、社会全体で見守っていくこともとても大切だと思っています。



みなとみらい本町小学校

取組に対する思い

本校は、SDGsの考え方を大切に、日々の授業や体験活動を行っています。

今回の取組については、子どもたち自身が考え自発的に取り組み、その結果学びが深まる機会になるよう進めました。

子どもたちの変化

当日参加した児童は、みんなの思いを背負った代表としてとても生き生きとしていました。自分たちの気持ちを直接伝えた実感をもてたのは、とても良かったと思います。



イベントに参加した 子どもたちからの感想

- みんなを喜ばせたいと思いながら、サンキューカードを作りました。ロスフラワーとカードを受け取った方から「ありがとう」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。
- SDGsを大切に、みなとみらいのまちを良くしていきたいと思いました。
- 参加者の方にとっても喜んでもらえて嬉しかったです。これからも地域の人たちと協力していきたいです。



横浜市ボランティアセンターより

横浜市ボランティアセンターでは、企業の地域貢献活動への協力や福祉教育を通して、より良い地域づくりについて一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。

この記事に関する
問い合わせ先

横浜市
ボランティアセンター
☎045-201-8620
ホームページ▶



第8回 よこはま地域福祉フォーラム

「誰もが自分らしく暮らせるまちへ」～つながりが育む お互い様の支えあい～

誰もが孤立することなく自分らしく暮らしていくために、困りごとを受け止め、支えあう地域づくりに向けて、基調講演と市内4つの実践報告を通して考えていきます。

基調講演 「ともに育ち ともに生きるまなざし」

にしひろゆき
西野 博之 氏

(認定NPO法人 フリースペースたまりば 理事長)



▲西野 博之 氏

分科会

- ① 思いに寄り添う つながりのまち
～気かけあい そばにいる～
- ② 垣根を越えて 地域に根差す まちづくり
～連携(○○×□□)で育む～

YouTubによる録画配信
(事前に申込が必要です)

〈配信期間〉

令和6年2月1日(木)
～3月26日(火)

ホームページ▶



よこはま地域福祉フォーラム 検索

【問い合わせ先】

横浜市社会福祉協議会 企画部企画課

☎045-201-2090

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和5年7月17日～10月25日 新規受付・継続受付分
団体会員
●三澤太雅法律事務所 様

【問い合わせ先】

横浜市社会福祉協議会 総務部

☎045-201-2096

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



NPO法人 霧が丘ぷらっとほーむ

誰でもぷらっと立ち寄れるカフェ
“ぷらっとkiricafe”は今年の1月に
オープンしました。ボランティアスタッ
プがつくる日替わりランチが人気のよ
うです。「カフェ」としての機能だけ
ではなく、地域の人が繋がるきっかけ
の場として「学びの場」や「多文化交
流の場」、「シニア世代の居場所(車
座トーク やうたごえのれん、介護予
防のサービス)」など、この地域に住
むさまざまなコミュニティの居場所
となっています。



▲オープニング
セレモニーの様子



学びの場の様子▶

おれの
メッセージ

順調に「霧が丘ぷらっとほーむ」の
事業が展開できているのも、ふれあい
助成金のおかげです。

ありがとうございます。シニア、子育て
ママ、子ども達、そして外国人、それ
ぞれのコミュニティが抱えるさまざま
な課題を解決できる場として、活動
の領域を広げていきたいと考えてい
ます。

引き続きご支援のほどよろしくお願
いします。

横浜市ボランティアセンターでは、
寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。この寄付は「ヨコ寄付」の取組等で使われています。
令和5年7月1日～9月30日受付分(受入順)

金銭寄付者

〈個人〉

- 吉村 春美 様
- 平本 義則 様

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様(3件)
- 有限会社 湘南仲介センター 様
- 株式会社 創健社 様
- 汲沢電設 有限会社 様(3件)
- 神奈川ロイヤル 株式会社 様
- 株式会社 ツカサベトコ 様
- 株式会社 エンパワー 様
- ウェスティンホテル横浜 様

●ふれあいチャリティバザー実行委員会 様

●吟楽会 様

- 一般社団法人 タカナシ食と人を育む会 様

〈匿名寄付〉(53件)

物品寄付者

〈企業・団体〉

- MMcc(みなとみらいコミュニティクラブ) 様
- 公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様
- 横浜労働者福祉協議会 様
- 株式会社 エスユーライフケア 様
- 横浜油脂工業 株式会社 様

〈匿名寄付〉(4件)

ヨコハマ寄付本寄付者

〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉

- 横浜市社会福祉センター
利用者一同 様 (2件)
- 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
- 横浜市鶴見区社会福祉協議会 様
- 横浜市磯子区社会福祉協議会 様
- 横浜市神奈川区社会福祉協議会 様
- 横浜市栄区社会福祉協議会 様
- 老人福祉センター
横浜市コートピア青葉
横浜市もえぎ野地域ケアプラザ 様

〈匿名寄付〉(53件)



ヨコ寄付

ヨコ寄付は、「ヨコハマ
で、すぐヨコへ。」をコンセ
プトに、本会への寄付金
を活用し、既存の制度や
サービスでは対応がで
きない課題の解決を目
指す取組です。



ホームページ▶

令和5年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

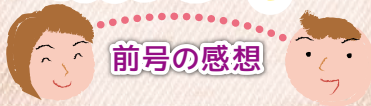
団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

特別支援学校とプロラグビーチームの出会い。素晴らしいタグだと拝察いたしました。スポーツの力はSDGsの概念に通じると思っています。他の支援学校にもこの様な地元スポーツのコラボレーションが広がればと期待します。

(戸塚区 ちいちゃん)

特別支援学校の教育相談コーディネーターの方の記事が読んでいて驚くことが多かったです。「立場上支援し過ぎないように心がけている」というのを見て、いろいろな支え方があるのだと考えさせられました。

(鶴見区 有本 瞳)

ハートメイドのカatalogが気に入りしました。時間がある時にゆっくり見て購入したいと思います。楽しみです。

(中区 サボテン)

企業から社協に地域貢献活動についての相談があったことにすごい!と思いました。また、大学生に取材をお願いしているところに、紙面作成の方法がとても斬新だと思いました。

(福岡県 K.O)

「Let's try ボランティア」の記事により、ボランティア活動を始めるとのこと、考慮することの一部を知ることができ、良かったと思います。エレベーター内の鏡は車椅子の人のためにあることを知り、勉強になりました。

(横須賀市 K.K)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

「横浜生活あんしんセンター」は今年で〇〇周年を迎えます。今後も皆さまとともに“その人らしさ”を支えながら歩んでいきます。(数字2文字)

今号のプレゼント

あずき

「小豆のホットアイマスク」

読書やパソコン操作などで疲れた目にそっと優しい小豆のアイマスクです。電子レンジで温めるとリラックス効果も期待でき、繰り返し使用することができます。神奈川県にある「障害福祉サービス事業所ネバーランド」のハンドメイド製品です。



GREENROAD_NEVERLAND

▲Instagram



デザイン・色はおまかせください

前号208号「福よこクイズ」の答えは、“社協”でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

「みんなの声」に掲載された方を含み、抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。締切:令和6年1月31日(水)必着

応募方法 はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、下の項目をご記入のうえお送りください。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
〈FAX〉045-201-8385
〈Eメール〉
fukuyoko@yokohamashakyo.jp
「福よこクイズ」応募フォーム▶



項目

- クイズの答え
- 郵便番号・住所
- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 電話番号
- 福祉よこはまの入手方法
- 興味のある記事の感想
- 福祉よこはまの入手回数
- 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否
(匿名希望の場合はイニシャルを記載)

【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

〈Facebookのご案内〉

横浜市社協ボランティアセンター Facebookでは、ボランティア情報を紹介しています。 Facebook▶



編集後記

(特集)金銭管理の支援を受けている方から、家計の不安がなくなったとともに、支援者に自分の気持ちや日常のことを本音で話せるので安心するというお話がありました。制度を通して心の支えとなっていることを感じました。今後の楽しみを語ってくれた笑顔が心に残っています。

(福祉の仕事)「誰かに必要とされることを身をもって知ることができる」のが市民後見人だと伺いました。誰かの役に立ちたいと思っている人はいると思っています。新しい年に一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.210
令和6年3月発行予定